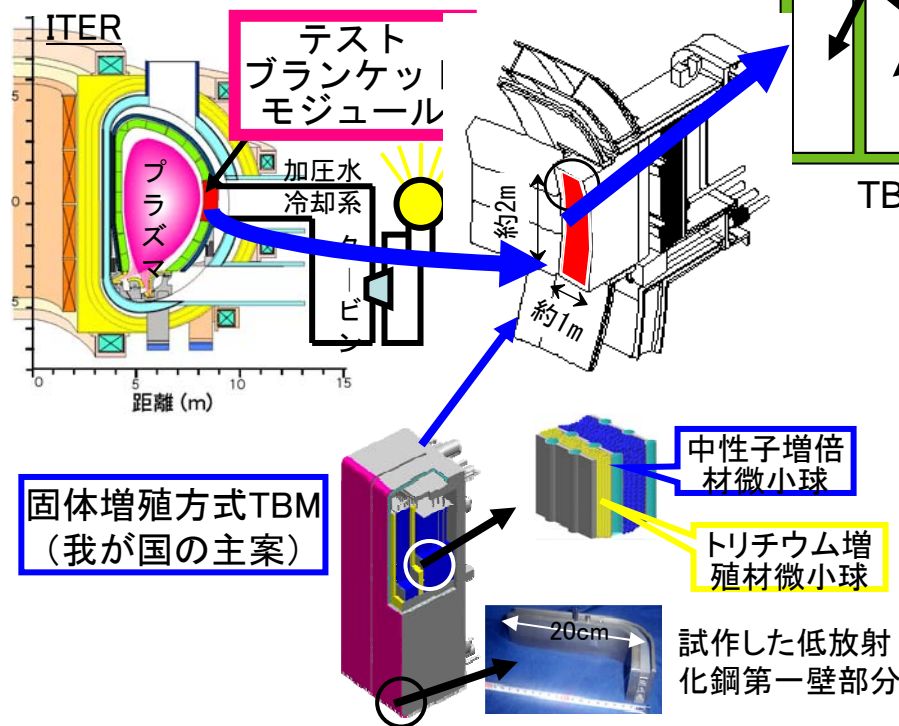


ITERテストブランケット・モジュールの検討結果

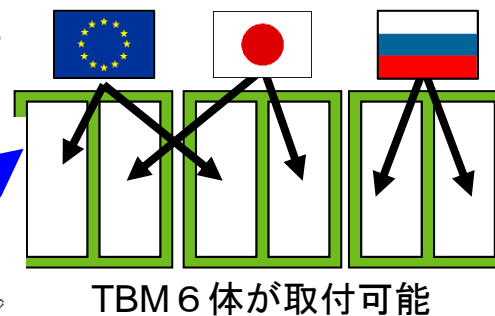
- ITERにテストブランケット・モジュール(TBM)を取りつけて実施する総合機能試験はブランケット開発の重要なマイルストーン。
- 従来、TBM計画は各極独自の活動との位置付けであったが、ITER参加極の増加など新しい状況に伴って、国際協力での実施が不可欠な状況。
- 我が国としては、主案として固体増殖(水冷却)方式を原子力機構を中心に全日本的に研究開発を推進。液体増殖などの先進ブランケットについては大学等を中心に学術研究として実施。
- 今後、これらの実施を可能とする体制の構築および適切な資金の確保が必要。

ITERテストブランケット・モジュール試験

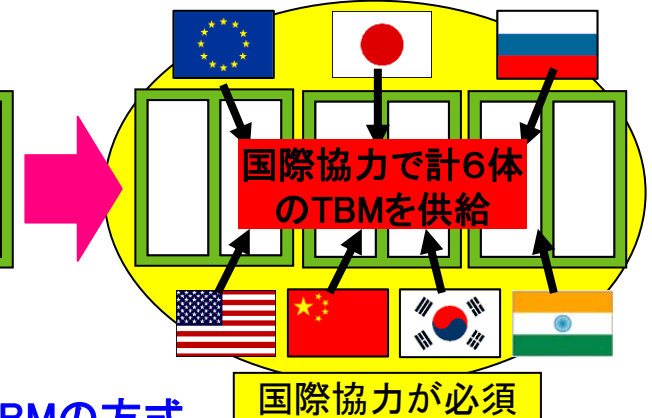
- ITERはTBM試験のために3本の水平ポートを準備。
- 1つのポートで2体のTBMを試験。最大6体を試験。



これまでの研究開発の枠組み



新たな研究開発の枠組み



各極が検討中のTBMの方式 (●は主案を示す)

	日	欧	米	露	中	韓	印
固体増殖/He冷却	○	●	○	○	●	○	○
LiPb増殖/He冷却	○	●	●		●		●
固体増殖/水冷却	●	○			○		○
液体Li増殖	○			●		●	
熔融塩増殖	○						